

令和6年度 第1回由布市総合教育会議 会議録（要約）

会議日時	令和6年11月19日（火） 13時20分～14時55分		
場 所	由布市役所本庁舎 本館3階 大会議室		
出席者	市長	相馬 尊重	※
	副市長	小石 英毅	
	教育長	橋本 洋一	※
	教育委員	高橋 知佳	※
	教育委員	佐藤 式男	※
	教育委員	河野 富美恵	※
	教育委員	下村 未央	※
	総務課長	古長 誠之	
	財政課長	大久保 暁	
	挾間地域振興課長	井原 和裕	
	子育て支援課長	藤川 祐子	
	教育次長兼教育総務課長	安部 正徳	
	学校教育課長	麻生 久	
	社会教育課長	吉倉 芳恵	
	スポーツ振興課長	坂本 猛芳	
	社会教育課総括課長補佐 （歴史民俗資料館長）	秦 隆	
	教育総務課課長補佐	宮本 貴士（書記）	
	※印は地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第1条の4による総合教育会議の構成員		
議 事	由布市歴史民俗資料館について 学校施設の更新計画、維持管理について		
要 旨	別紙のとおり		

由布市長 相馬 尊重

署名委員 高橋 知佳

## 由布市歴史民俗資料館について

### 要旨（説明を含む）

#### ●資料館の現状や課題について

- ・既存施設は交通のアクセスが不便。
- ・既存施設は展示スペースが狭く、保存環境が良くない。
- ・敷地内民間施設からは不特定者の出入りを心配する声がある。
- ・書籍や蔵書、土器類は挟間庁舎3階に保管中。
- ・旧町時代からの湯布院の農具や民具は別施設に保管中。
- ・適切に資料を保存できるよう、資料館の移転を検討したい。
- ・空調があり、遮光できる空きスペース等を活用したい。

#### ●既存資料の整理状況について

- ・土器等については挟間庁舎3階に搬入している。
- ・整理する場所としては挟間庁舎3階は狭い。
- ・古文書等については内容の確認はできていない。
- ・学芸員により保存と活用を分けた整理が必要。

#### ●展示内容について

- ・由布市の歴史、偉人など特化した展示方法ができないか。
- ・子どもたちの由布学の学びの場としての展示はどうか。
- ・デジタル利用と図書館でのアナログな学びを融合できないか。
- ・湯布院、庄内を含め、市の資料館としての方向性をどうするか。

#### ●展示スペースについて

- ・挟間庁舎1階が空けば利用したい。
- ・1階に移動式書庫があり、資料の保管には適する。
- ・旧保健センターの建物も利用したい。
- ・子どもルームはさまとの調整はできているか。

### 調整（まとめ）

- 挟間庁舎1階を移設先候補の一つとして今後調整を進める。

## 学校施設の更新計画、維持管理について

### 要旨（説明を含む）

- 学校施設長寿命化計画について
  - ・ R 2 ～ 1 1 の計画期間、1年遅れで進行中。
  - ・ 挟間地域の学校施設の増築等の大型案件が控えており、後年度の財政負担が大きい。
  - ・ 新しい計画には照明LED化や体育館空調整備、プール・遊具等の設備も盛り込みたい。
  
- 照明のLED化について
  - ・ 1校あたり3～400万円かかる見込み。
  - ・ 水銀灯生産終了のため、校舎よりも体育館を先に行いたい。
  - ・ LED照明のリース契約についても検討したい。
  - ・ 補助が取れるよう、大規模改修に合わせて行ってもらいたい。
  
- 体育館の空調整備について
  - ・ 避難所対応も可能となるよう整備したい。
  - ・ 大規模改造に合わせ補助を受けて整備したい。
  - ・ 1校当たり5000万円かかる見込み。
  - ・ ランニングコストの面で運用方法の検討が必要。
  
- 施設の維持管理について
  - ・ 5年平均で730万円の修繕費がかかっている。
  - ・ 毎年学校から多くの要望が出るがたまってきている。
  - ・ 予算上の大枠を与えて教育総務課に一任してはどうか。
  - ・ 予算査定場で各学校の状況を確認することも大事。
  - ・ 理科教室と家庭科教室が同じなのはどうか。
  - ・ 特別支援の教室が増えた状況で、新たな教室の設置は難しい。

### 調整（まとめ）

- 計画より1年遅れではあるものの、財政負担の平準化が図られるよう中長期的に進めていく。
- 照明のLED化や体育館の空調整備、学校からの要望については財政の状況を見つつ早めに対応できるようにしたい。